

派遣留学生帰国報告書

オンラインで留学先大学の授業を受講

* 帰国後の情報を入力してください

記入日	2021/5/21
所属学部・ 研究科・学府	教育学部
所属学科・専攻	中学校教員養成課程・英語科教育分野

1. 留学先について

留学先大学名	ユヴァスキュラ大学						
留学先所属学部等	教育学部						
留学期間	出発日	入学日	2021/1/4	修了日	2021/5/23	帰国日	
住居	大学(紹介)の寮・アパート	民間アパート	その他()				
	通学時間						On campus
	通学方法						
	居室スペース	個室	() 人部屋	その他()			
	共有スペース	完全個室	キッチン	トイレ	バス	リビング	その他()
食事	自炊	学食	外食	その他	()		
保険	海外旅行保険(名称)						
	留学先国・大学指定 の保険(名称)						<input type="checkbox"/> 加入必須
	その他						
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)						
	⇄			⇄			

2. 留学にかかった費用について

総費用	0 円						
出どころ							
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円	
援助	親	円	家族・親戚	円	その他	円	
奨学金	JASSO	円	その他名称()			円	
その他	その他()						円

2-1. お金の管理方法

渡航時	現金	円	その他()	円
留学中	海外送金	キャッシング	その他()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	
住居にかかった費用	
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)				円
海外旅行保険				円
危機管理サービス				円
査証・在留許可証				円
住居				円
光熱費				円
食費				円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費				円
その他大学に支払った経費				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

	履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
				有	○	無
1	Key Considerations in Intercultural and International Education	正規	5	有	○	無
2	Formal Language Development	正規	5	有	○	無
3	Education in Finland	正規	3	有	○	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

基本的に留学生用の授業の中から選択します。私は教育学部に所属していましたが、他の学部の授業も受講できたようです。春学期のみの留学だったので3つの授業を登録しました。本当はあと2つくらい登録しようと思ったのですが、都合が合いませんでした。授業の選択で注意することは、授業のレベルをシラバスや授業コードから推測することです。ある授業をなんとなく参加したら周りの受講生がみんな大学院生で苦勞したこともありました。自分の関心に合った授業を取ることをオススメします。履修登録はSISUという大学のサイトで登録します。このサイトのログインIDなどは履修登録期間が始まってから判明したので、焦る必要はありません。ムードルも使います。これらの詳細に関しては学期が始まってすぐのオリエンテーションに参加して情報を得ることになります。あと注意することは、時差を考慮して履修登録することです。中には同時双方向ではなく動画視聴で授業をすませるものもあります。

3-2. 授業内容、方法に関して

どの授業も日本の大学とは全く異なりました。ある授業では教授が説明をする時間よりも学生が自分の意見・考えを述べたり、ディスカッションする時間の方が長かったです。積極的に話し合いに参加することが必要です。教授の説明はZOOMのスライド共有を使って行います。課題が毎回ありました。論文や本の一部を読んだり、動画を見てその内容をまとめたり、自分の考えをまとめる課題でした。内容のまとめよりも自分に考えを詳しく書くことが求められました。さらに、グループ課題もあって他国の留学生と発表資料をスライドを共有しながら作成したこともありました。日本ではあまり使ったことのないプレゼンツールを使うことも多かったです。慣れていないので苦勞しました。授業でわからないことは教授に聞けば快く答えていただけます。質問や意見をとても歓迎している様子でした。評価は、授業への参加、毎回の課題、最終テスト、最終課題で構成されます。淡々とこなせば成績はいただけます。ちなみに、春学期のほとんどの授業はオンラインだったみたいです。

3-3. 語学力について

一番苦勞したのが語学力です。先ほども述べたように、授業では他の学生と英語でディスカッションすることがとても多かったです。語学テストの勉強やオンライン英会話などでスピーキングを鍛えてきたつもりでしたが、自分の考えを明確に流暢に話すことが難しかったです。たとえ、日本語で考えがまとまっていたとしても英語に即興で変換できませんでした。フィンランドの学生は英語ネイティブ並みで、他のヨーロッパからの学生ももちろんきちんと話していました。ディスカッションで話せなくなると、悔しさがこみ上げます。現地での留学であればこの苦しみを共有できる友だちもいたかもしれませんが、今回はオンラインで一人で受講しているので悩みを話せる相手もいませんでした。これはオンライン留学の一つのデメリットだと考えます。私が話せなかった要因は、フォーマルな英会話をいきなりしてしまったことにあると思います。インフォーマルな会話ならまあまあできる自信はありますが、アカデミックな内容を話せるレベルまでには到達していないと感じました。だから、語学留学などで留学生とフランクな会話をしながら講義を受けてフォーマルな会話に慣れることをオススメします。

3-4. 図書館など学内施設について

オンラインなので特に利用していませんが、オンライン上で図書館の資料にアクセスして文献を手に入れることは可能です。

3-5. その他

オンライン留学なので時差を考慮して受講する必要があります。日本とフィンランドの時差は基本的に7時間なので現地在午前授業は、こちらでは夕方授業になります。1度ある失敗をしてしまいました。その原因はサマータイムです。日本にはないものだし、現地で生活をしているわけではないので眼中にありませんでした。これによって1時間時差が早まっていた。それに気づかず、ある授業のZOOMを開いたところすでに始まってとても困惑したことがありました。5月になるとサマータイムが始まるのでこれから受ける方は気をつけた方が良いでしょう。もともとは秋学期から留学する予定でしたが、オンラインで受講できる授業が少なかったため春学期から開始しました。

4. 生活面

4-1. 住居について

留学生用の寮があります。KOAS, Kortepohja から選べます。申し込みの手続きをしたわけではないので詳しいことはわかりません。

4-2. 食生活について

学生組合に入れば、学食を安く食べることができます。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

オンライン留学なので、インターネット環境には常に気をつけました。海外と繋いでいるのでラグが起きることは多少ありましたが、それによって説明を聞き逃したことはほぼありませんでした。聞き逃したとしても教授に聞けば答えていただけます。現地の学生とのコミュニケーションはメールやSNSを通して行いました。LINEではなくWhatsAppというアプリを新しく入れてよく使いました。

4-4. 服装について

やはり冬は雪でとても寒いらしいですが、夏になれば暑さもあるみたいです。去年の夏は25度くらいあったらしいです。

4-5. 健康管理について

特に授業の受講が夜遅くなることはありませんでした。ただ、現地にいる学生とグループ課題を作るときは夜更かしをしました。

4-6. 保険、危機管理サービスの利用について

4-7. 課外活動について

tutor制度があって、大学の学生1人が4人の留学生を集めてグループを作ってたまにZOOMミーティングを開いてくれます。このミーティングではお互いの文化を紹介したり現地での生活などを共有しました。tutorには、学生生活に関することを相談できます。SNSを通してお互いの文化について共有することもありました。優しく私の勉強の状況などを気にかけてくれます。特に申し込みをする必要はなく、全ての留学生に一人の現地の学生がつくようです。課外での学生とのコミュニケーションはこのみでした。学生組合があって料金を払って加入すれば、様々な特典を得られるようです。ただ、オンラインであれば加入する必要はないと思います。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

4-9. 日本から持参してよかったもの

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

授業の参加の仕方が全く違いました。まず、教授から意見述べたい人がいるか聞かれたらすぐに発言していました。その話も自分の主張を論理的にするためかとても長いです。他には、授業中なのに朝ごはんを食べながら受けている人もいました。教授もそれを注意するわけではなく通常運転でした。ZOOMのカメラはみんな基本オンにしていました。何も話さないで固まっていると、他の学生同士で話が盛り上がってしまうので少しでも割って入った方が良いです。

時間にはルーズです。授業やミーティングの開始時間になっても全員が集まらないことは多々ありました。

いろんな国からの学生がいます。それぞれ英語の訛りが違います。正直、聞き取りにくい人もいます。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

現地の学生によると、フィンランドの魅力は自然だそうです。トゥルクや北のほうは観光するのに良いらしいです。冬の時期に行けばスキーも楽しめます。オーロラが見えることもあるそうです。いつかは行きたいと思っています。

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

5. その他

5-1. 留学先大学について

ユヴァスキュラ大学はヘルシンキから電車で4時間ほどに位置する大学です。様々な学部がありますが、元々は教員養成大学でした。そのため、教育学部の規模が大きいです。世界中の国から留学生を受け入れています。ヨーロッパの学生が多かったですが、アジアからの学生もいました。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

派遣留学は自分の専門を深めるための留学です。だから、英語を駆使できることは勉強する上での絶対条件となります。いきなり派遣留学をするのではなく、語学留学などで海外のコミュニティを経験することをオススメします。授業の受け方の意識もあげるべきです。ただ、講義を聞くだけでなく、話の中で出たトピックについて深く考えたり、物事を批判的に捉えることを習慣づけると良いと思います。また、授業で発表や質問の機会があれば積極的にすると良いです。

5-3. 留学を終えて

もともと私が留学をしたかったのは、受けない特定の授業があったことと現地の学校を見学したかったからでした。しかし、オンライン留学となったためにこれらが叶わなかったのはとても残念でした。さらに、現地での生活や文化を体験できなかったことも残念です。留学をするために様々な準備をしてきました。語学試験の準備・奨学金の手配・現地生活の下調べなどを徹底的に行いました。その労力を無駄にしないためにオンラインという形でも留学をしました。正直なところ、苦しかったことの方が多かった気がします。語学の面で悩んだり、グループ課題で留学生とうまく意思疎通ができなかったりしました。課題もあつてきつい時期もありました。しかし、ここで学んだこと、体験したことはきっと無駄ではないと思っています。自分の専門分野の知識を深めることができました。他国の教育文化を知ることができました。「教育」を国際的な視点で捉える視点が身につきました。留学を通してこれまでの私にはなかったものを手に入れることができました。このことは将来の職業に大いに役立つと思われます。

以前、留学に関する懇話会である先輩が「留学とは自己実現・自己開拓のために行うもの」とおっしゃっていました。留学とは自発的な動機によって行われるものであり自分にはまだ知らない世界を広げるものという趣旨の発言をされていました。今振り返るとその通りだと感じます。この留学を通して、自分自身のまだ知らないこと、足りないことが見えてきました。周りのサポートを借りながらも自分で計画を立て、自分で手続きをしました。これができるのは自分を磨きたいという自己実現・自己開拓の考えが私の心の中にあったからかもしれません。

留学を通して得られる学びの質は個人によって差があると思いました。頑張ればその分返しも大きいです。なんとなく留學生活を続けていたら時間が経過するのも早くてあつという間に終わってしまいます。留学は魔法ではありません。適当に過ごしていればそれなりの成果しか得られないと思います。私はできる限りのことはしましたが、欲を言えばもっと何かできることがあつたと思います。例えば、留学生との交流や授業の参考文献を読むことなどです。

あまりまとまっていますが、報告は以上です。留学は自分次第で楽しくも寂しくもなります。これから留学される方々は現地かオンラインかはわかりませんが、充実したものとなることを祈っております。最後に、これまでサポートしてくださった留学生課の方々と担当してくださった教授に感謝しています。ありがとうございました。